

# 実施状況の評価の見直しイメージ ～「年次計画2024」に向けた対応～

- 「国土強靱化施策の実施状況の評価の在り方について」を踏まえ、「年次計画2024」の策定にあたっては以下の3点について試行するとともに、取組を通じて明らかになった課題については継続的に見直し。未定稿

○

## <年次計画2023>

### ① 予算の状況・施策別KPI・効果事例を各々整理

- 国土強靱化に係る各施策が脆弱性の克服に向けて如何に貢献しているのかわかりづらい。

### ② 各省庁が独自の考え方にに基づきKPI・目標を設定

- アウトプットの指標とアウトカムの指標が混在し、施策との因果関係が不明確でわかりづらい。

### ③ シンプル(短絡的)な整備効果の分析

- 効果に影響を及ぼす多様な影響因子を考慮していない。

## <年次計画2024>

### ① 脆弱性評価のフローチャートに基づく体系的な説明・評価

- 35の最悪の事態のフローチャートの連鎖を断ち切るための施策について、施策グループ単位でKPI等により進捗状況を評価し、脆弱性の克服状況をストーリー性をもって解説。

### ② 一定のルールによりインプット・アウトプット・アウトカムの関係性を体系的に説明

- 現行KPIに加え、事業特性等を踏まえた「補足指標」を設定し、インプット・アウトプット・アウトカムの関係性がわかるように工夫する取組を順次開始。

### ③ 減災効果に影響を及ぼす多様なデータの活用

- 減災効果の発現に係る影響因子について、災害外力や関連施策との相乗効果等に関するデータを可能な限り整理。効果事例を積み重ね、脆弱性評価や減災効果に係る研究の環境整備に貢献。

# 年次計画における評価の見直しイメージ①

## これまでの評価

### < 予算の状況 >

| 区分              | 事業規模の目的<br>〈決定時〉 | 事業規模<br>〈R5時〉 | うち国費<br>〈R5時〉 |
|-----------------|------------------|---------------|---------------|
| 5か年<br>加速化対策    | おおむね<br>15兆円程度   | 約9.9兆円        | 約5.0兆円        |
| 風水害・大規模<br>地震対策 | おおむね<br>12.3兆円程度 | 約8.0兆円        | 約3.8兆円        |
| 高齢化対策           | おおむね<br>2.7兆円程度  | 約1.7兆円        | 約1.0兆円        |
| デジタル化           | おおむね<br>0.2兆円程度  | 約0.2兆円        | 約0.2兆円        |

## 予算の状況・施策別KPI・効果事例を各々整理

### < 施策別KPI >

| 指標名                                | 単位 | 初年度  | 初期 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 目標  | 目標<br>年度 |
|------------------------------------|----|------|----|------|------|------|------|------|-----|----------|
| 【国交】<br>官庁施設の耐震<br>基準を満足する<br>割合   | %  | 2013 | 88 | 93   | 94   | 95   | 96   | 97   | 100 | 2025     |
| 【警察】<br>都道府県警察<br>本部及び警察署<br>の耐震化率 | %  | 2010 | 77 | 95   | 96   | 97   | 97.8 | 97.9 | 98  | 2025     |
| ⋮                                  | ⋮  | ⋮    | ⋮  | ⋮    | ⋮    | ⋮    | ⋮    | ⋮    | ⋮   | ⋮        |

### < 整備効果事例 >

交通情報収集・提供・活用のためのシステムの整備・運用(全国) 【災害時の迅速な対応】 国土強靱化

効果概要: 令和4年6月19日の石川県陸路地方を震源とする地震では、広域交通管制システムを活用して道路状況を把握するとともに、融合された運行実績情報を関係団体のウェブサイトを通じて一般に提供した。

所管庁名: 警察庁

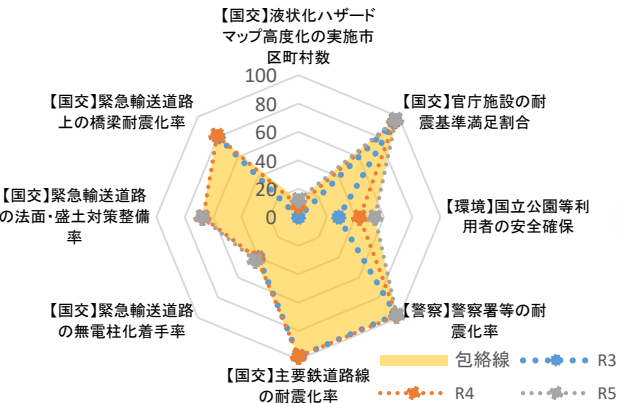
- 実施主体: 警察庁
- 対策の概要: 警察庁において、各都道府県警察が収集した交通情報、交通監視カメラの画像等の閲覧を可能にするとともに、各都道府県警察が収集した交通情報に民間事業者が保有するプローブ情報を融合するためのシステムを整備・運用し、災害時の交通対策の立案に活用する。また、収集した交通情報を一般に対して一元的に提供することにより、運転者の適切な経路変更等を促すことで交通の安全と円滑を図る。
- 事業費: 約11.2億円
- その他: 災害時に民間事業者から提供されるプローブ情報と、各都道府県警察等が収集した交通情報に融合して、運行実績情報(いわゆる「通れたマップ」)を作成し、災害時における交通対策の立案に活用及び一般へ提供した。

## 今後の評価

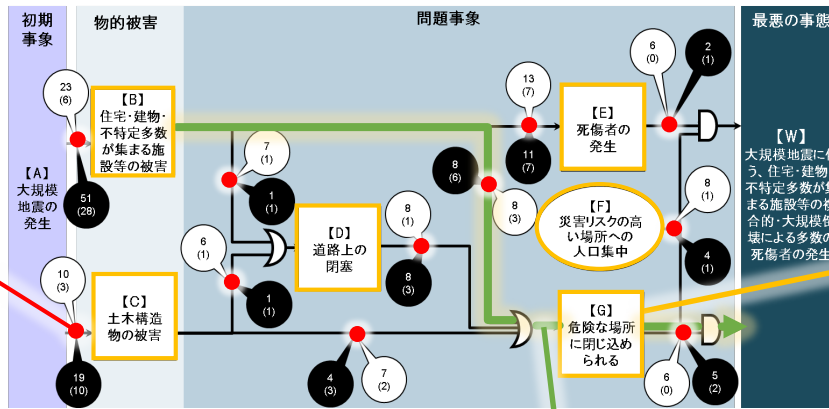
## 脆弱性評価のフローチャートに基づく体系的な説明・評価

### < インプット・アウトプット指標 >

最悪の事態へ至る連鎖を断ち切るための施策群ごとに予算やKPIをとりまとめ、**アウトプットの進捗を「指標群」で評価**



### 脆弱性評価のフローチャート



### < 顕在化した脆弱性 >

事象の状況変化に関するデータを整理し、**顕在化した脆弱性に係る分析を充実**

| 事象の状況変化に関するデータ |                         |    |    |    |
|----------------|-------------------------|----|----|----|
| 事象             | 参考指標                    | R3 | R4 | R5 |
| A              | 大地震の発生回数(震度6強以上)        |    |    |    |
| B              | 住宅・建築・不特定多数が集まる施設等の被害件数 |    |    |    |
| C              | 土木建造物の被害件数              |    |    |    |
| D              | 道路上の閉塞箇所数               |    |    |    |
| E              | 大規模地震に伴う死傷者数(災害関連死除く)   |    |    |    |

### < 整備効果事例 >

減災効果に影響を及ぼす多様なデータを活用し、**実災害の整備効果事例を分かりやすく整理**

- ※ 当面、各府省庁が保有するデータを基に検討し、調整が整ったものから順次、年次計画に反映。
- ※ 基本計画の改定や実施中期計画の策定に向け、デジタル施策の進展状況等も踏まえ、データ収集体制の強化を検討。

# 年次計画における評価の見直しイメージ②

## これまでの評価

### 各省庁が独自の考え方に基づきKPI・目標を設定 (アウトプットの指標とアウトカムの指標が混在)

| 指標名  | 単位 | 初期値 | 初年度  | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 目標値  | 目標年度 |
|--|----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 6-5) 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失               |    |     |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 【財務】国有財産を活用し遊水地・貯留施設として整備する件数                                    | 件  | 0   | 2020 |      |      | 0    | 0    | 1    | 50   | 2025 |
| 【文科】民俗文化財調査(民俗芸能緊急調査及び祭り・行事調査)実施の割合                              | 件  | -   | -    |      |      |      |      |      | 94   |      |
| 【文科】国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等(539館)のうち、特に緊急性の高いものに係る、防火設備等の対策の実施率 | %  | 30  | 2020 |      |      | 30   | 50   | 58   | 100  | 2024 |
| 【文科】世界遺産・国宝(建造物)を対象として、整備・改修後30年を経過した防火設備の老朽化対策(改修等)が完了した割合      | %  | 11  | 2020 |      |      | 11   | 26   | 36   | 100  | 2024 |
| 【文科】不特定多数が滞留する可能性の高い国宝・重要文化財及び世界遺産・国宝に対する耐震対策の着手率                | %  | 5   | 2020 |      |      | 11   | 18   | 35   | 50   | 2025 |
| 【文科】史跡名勝天然記念物の整備周期   | 年  | 45  | 2020 |      |      | 45   | 35   | 41   | 30   | 2025 |
| 【環境】国立公園、国定公園及び国民公園等において、利用者の安全確保や、国土の荒廃を防止するための対策を実施済の自然公園等事業数  | 箇所 | 317 | 2021 | 0    | 218  | 317  | 484  | 604  | 1122 | 2025 |
| 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるイノシシの個体数目標                                 | 万頭 | 121 | 2011 | 105  | 98   | 87   | 72   |      | 60   | 2023 |
| 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるニホンジカの個体数目標                                | 万頭 | 310 | 2011 | 309  | 308  | 301  | 291  |      | 155  | 2023 |

アウトプットの指標(率)
  アウトプットの指標(数)
  アウトカムの指標

## 今後の評価

### 一定のルールによりインプット・アウトプット・アウトカムの関係性を体系的に説明

インプット指標や事業特性を踏まえたアウトプット指標、関連事象の統計値等を「補足指標」として整理 (※)対策箇所数の見直し等も整理

| 事業間 | 施策名称                          | 指標<br>(補足指標のイメージ)          | 当初値<br>( )は年度                                  | R3  | R4      | R5  | R6  | R7 | 目標値( )内は年度 |      |        |         |
|-----|-------------------------------|----------------------------|--|---|---------|-----|-----|----|------------|------|--------|---------|
|     |                               |                            |  |   |         |     |     |    | うち5か年      | 概ね〇円 |        |         |
| AC  | 【文科】<br>国指定等文化財<br>(建築物)の耐震対策 | インプット                      | 補足指標 予算額                                       | 〇円(R2)  | 〇円      | 〇円  |     |    |            | —    | 概ね〇円   |         |
|     |                               | アウト<br>プット                 | 中長期  | 補足指標 国宝・重要文化財及び世界遺産・国宝に対する耐震対策の着手率                | 〇%(R2)  | 〇%  | 〇%  |    |            |      | 〇%(R0) | —       |
|     |                               |                            |  | 補足指標 国宝・重要文化財及び世界遺産・国宝に対する耐震化率                    | 〇%(R2)  | 〇%  | 〇%  |    |            |      | 〇%(R0) | —       |
|     |                               |                            | 5か年  | KPI 不特定多数が滞留する可能性の高い国宝・重要文化財及び世界遺産・国宝に対する耐震対策の着手率 | 11%(R2) | 18% | 35% |    |            |      | —      | 50%(R7) |
|     |                               |                            | 補足指標 不特定多数が滞留する可能性の高い国宝・重要文化財及び世界遺産・国宝に対する耐震化率 | 〇%(R2)  | 〇%      | 〇%  |     |    |            | —    | 〇%(R0) |         |
|     |                               | 関連事象の<br>統計値<br>(顕在化した脆弱性) | 補足指標 喪失等した文化財の件数(地震)                           | 〇件(R2)  | 〇件      | 〇件  |     |    |            |      | —      | —       |
|     |                               |                            | 補足指標 倒壊等による死傷者の人数(地震)                          | 〇人(R2)  | 〇人      | 〇人  |     |    |            |      | —      | —       |

# 年次計画における評価の見直しイメージ③

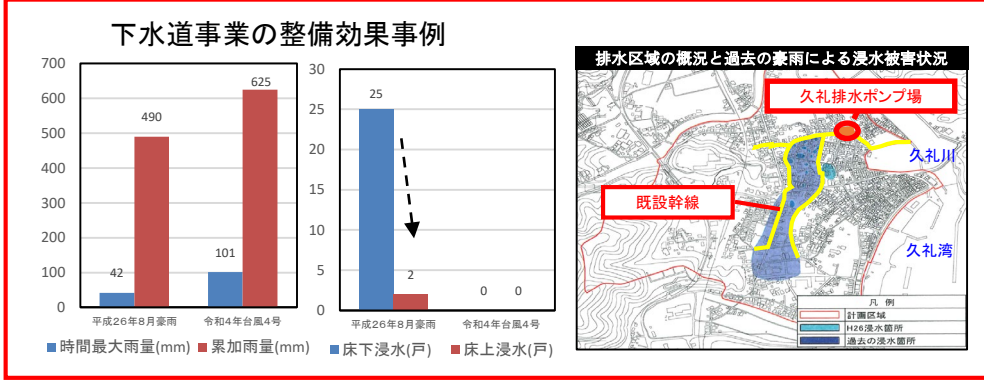
## これまでの評価

### シンプル（短絡的）な整備効果の分析

（防災・減災効果に影響を及ぼす多様な影響因子を考慮していない）

<事例① 実災害の外力や過去災害との比較により整備効果进行评估>

<事例② 状況写真に基づき、整備効果进行评估>



## 今後の評価

### 減災効果に影響を及ぼす多様なデータの活用

（多様な影響因子に係るデータ整理、効果事例の蓄積による減災効果に係る研究の環境整備）

<関連施策の明示>

<災害外力や相乗効果に関する多様なデータ分析>

<国KPIと地域KPIの関係整理>

